

「安定運用の日に係るシステム障害訓練」を実施しました

当社は、平成22年12月10日にNACCSのシステム全てが停止するという極めて大きなシステム障害を発生させたことにより、ご利用者様をはじめ関係の皆様にご迷惑とご不便をお掛けしたことから、毎年12月10日を「安定運用の日」と定め、システム障害訓練を実施しているところです。

本年の訓練も前年同様に、どのような障害が発生するかを事前に関係者に共有しないこととし、実際に障害が発生した場合に近い形として実施しました。本日（12月10日）、日中にNACCSの全オンラインサービスが利用不可となる大規模システム障害が発生したとの想定で平松社長を対策本部長とした障害対策本部を設け、当社と契約ベンダーとをWeb会議システムにより接続した会議の開催、対処の検討、関係各所の連絡体制、及び復旧までの対応手順確認に重点をおいた訓練を実施しました。

当社は、「24時間・365日のシステムの安定稼働とお客様へのサービス向上」を最優先として業務に取り組んでいます。現下のコロナ禍にあっても適切な業務を遂行するための運用体制を構築しています。システムの安定稼働のため日々の点検や基本動作の確認は勿論のこと、定期的にシステムの総合点検を実施することで、システム障害の発生を未然に防ぐ努力を重ねておりますが、万一システム障害が発生した場合に備えて、多くの社員が参加し、このような訓練を実施しているところです。

国際貿易と国際物流に不可欠なシステムを維持・運用しているという自覚と責任感をしっかり持ち、「24時間・365日」システム障害を絶対に発生させない、お客様にご迷惑やご不便をお掛けしない、ということを常に念頭に置いて業務に精励してまいります。

**【連絡・問合せ先】**

輸出入・港湾関連情報処理センター（株）  
総務部総務課 秋葉 慎太郎  
（電話）03 - 6732 - 6119



障害対応訓練中に指示を出す平松社長